

平成 25 年度
(第 3 期)
事業報告書

自 2013 年 1 月 1 日
至 2013 年 12 月 31 日

一般財団法人 杉浦地域医療振興財団

I. 事業の概要

1. 主な活動の概況

平成 23 年 9 月 1 日に本財団を設立し、本年度で第3期を終了しました。

本年度は、助成・褒賞、看護介護医療等連携研究会の2大事業に加えて、「健康増進セミナー」事業を本格展開し、また、新規に認知症予防関連への取組と言う観点から、国立長寿医療研究センターと協力して「介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動」DVDの作成、及び「第1回認知症医療介護推進フォーラム」を共催することと致しました。

以下に、本年度の事業の概要について、報告いたします。

(1)地域医療の振興に関わる活動等に対する助成と褒賞(定款第4条第1項第1号)

前年度に引き続き「杉浦地域医療振興助成」(以下「杉浦助成」という。)、
「杉浦地域医療振興賞」(以下「杉浦賞」という。)の第2回募集・選考・授与式を開催し、また、第1回助成の報告会を行いました。

(2)地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画(定款第4条第1項第2号)

前期に引き続き、地域医療連携モデルの構築と社会実験に向けての「都市型の看護介護医療等連携研究会」を年間10回開催すると共に、前年に開催した研究会の内容を書物にまとめて出版いたしました。

(3)その他前条の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第6号)

A. ピンクリボン基金関係では、女性用かつら(ウィッグ)を100個用意し、88人に進呈しました。

また、乳がんを克服した患者さんの手記を書物として6,500冊発行しました。

B. 昨年度に開催した住民を対象としたオープンセミナーを発展させ、東名阪の主要都市において「健康増進セミナー」と題して年間7回のオープンセミナーを企画・開催しました。

C. 認知症予防関連

①「介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動」DVDの作成

②「第1回認知症医療介護推進フォーラム」の共催

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書

經常収益は予算 64,354,000 円に対して実績 64,703,575 円(予算対比 349,575 円超過)と、ほぼ予算通りでした。

一方經常費用は予算 94,180,273 円に対して実績 79,044,544 円(予算対比△15,135,729 円)と大幅に未達でした。その主因は事業費にあり、事業費は予算 78,745,633 円に対して、実績 62,731,000 円(予算対比△16,014,633 円)となりました。

このうち△10,000,000 円は、本年度制作した認知症予防 DVD を大量に配布する予定で予算を策定しましたが、期中で方針を転換し配布を愛知県に限定したことによるものです。さらに、助成金が返金等により約 200 万円少なくなったこと、認知症フォーラムの予算 300 万円の費用化が翌年にずれ込むことで支払寄付金が約 400 万円少なくなったことによるものです。

その結果、当期經常増減額は予算△29,826,273 円に対して実績△14,340,969 円(予算対比 15,485,304 円)となりました。

これから、税金を控除した結果、当期一般正味財産増減額は△14,457,862 円となり、これに期首残高 54,495,284 円を加えて一般正味財産期末残高は 40,037,422 円となりました。

指定正味財産については、当期中の入金を予定していたピンクリボン寄附金約 250 万円の入金が翌年度にずれ込んだこと、及び、乳がんの手記を冊子として出版するための費用約 400 万円が予算外に発生したため、約 650 万円予算に不足しました。

以上の結果、正味財産期末残高は 21,024,639,934 円となりました。

(2) 貸借対照表

現金及び預金等の流動資産は 28,554,133 円、固定資産では、スギ商事の優先株及び基本財産として受け入れた寄附金を運用した投資有価証券が 20,984,132,292 円、用途を限定した特定資産としてピンクリボン基金が 558,741 円、その他の固定資産として、今期健康増進セミナーでの体組成測定のために購入した InBody 機器が 3,881,334 円、会計ソフトのソフトウェアが 239,700 円、設立時のその他財産を運用した投資有価証券が 10,087,920 円となり、資産合計は 21,027,454,120 円となりました。

負債については、事務局員の人件費等の未払金 2,553,371 円等で 2,814,186 円となりました。

(3) 収支計算書

事業活動収支の内、事業活動収入は基本財産の運用による利息収入 110,000 円、ピンクリボン基金への寄附金 526,571 円、一般財産の運用利息 115,529 円等の合計で 752,512 円(予算対比△62,971,488 円)と未達でした。

未達理由は、予算では、基本財産のスギ商事株式の配当収入を事業活動収入としていましたが、決算では基本財産の取り崩しによる収入として処理されているためです。

一方、事業活動支出は、助成・褒賞やセミナー等の事業に直接関連する費用である事業費支出が 66,612,234 円、役員報酬、広告宣伝等の管理運営に関する費用である管理費支出が 16,228,944 円の合計 82,841,278 円でした。

その結果、税金等の支払を加味した事業活動の収支差額は△82,205,659 円となりました。

また、投資活動収支は、スギ商事の優先株に係る配当(会計上はスギ商事のその他資本剰余金からの配当であるので、基本財産の取り崩しとして処理)として 60,504,000 円、ピンクリボン基金の取り崩しによる支払 3,986,394 円、ピンクリボン基金に 2,732,975 円振替えたことから、収支は 61,757,419 円となりました。

以上の結果、当期収支差額は△20,448,240 円となりましたが、前期からの繰越収支差額が 46,188,187 円ありましたので、今年度の次期繰越収支差額は 25,739,947 円となりました。

II. 事業報告

1. 地域医療振興に係る助成・褒賞事業

(1) 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成

[第2回助成事業]

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体に対して、今後より有意義な活動や研究の成果を期待して助成金を付与する
募集・選考結果	平成25年1月1日～平成25年2月28日を募集期間とし、学会、特定団体を利用して候補を募集した結果、85件の応募がありました。 その内12の個人・団体に対して総額20,999,420円を助成しました。
授与式等	平成25年7月4日、帝国ホテル東京にて、第2回杉浦地域医療振興助成授与式と第1回助成の成果発表会を実施いたしました。

(2) 地域医療の振興に関わる活動等に対する褒賞

[第2回褒賞事業]

褒賞対象	地域医療振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体
募集・選考結果	平成25年1月1日～平成25年2月28日を募集期間とし、学会、特定団体を利用して候補を募集した結果、16件の応募がありました。 その内3の個人・団体に対して各300万円、総額900万円を贈呈しました。
授与式等	平成25年7月4日、帝国ホテル東京にて、第2回杉浦地域医療振興賞贈呈式を実施いたしました。

以上の外、助成・褒賞の募集、選考、表彰式、報告書の作成等に要した費用は6,226,198円です。

その内訳は、下記のとおりです。

費目	金額	摘要
募集費用	538,012円	募集チラシ、HP等
選考費用	1,534,829円	謝金、会場費等
贈呈式費用	2,724,410円	会場費、交通費、謝金等
報告集制作費	1,030,000円	
その他	398,947円	消費税等

助成・褒賞の選考委員は下記の通りです。

[第2回選考委員]

役名	氏名	略歴
委員長	伴 信太郎	名古屋大学附属病院総合診療科教授
委員	網岡 克雄	金城学院大学 薬学部医療薬学教授
〃	安藤 明夫	中日新聞 医療担当編集委員
〃	雨師 みよ子	(社)大阪府看護協会訪問看護事業部長 全国訪問看護事業協会理事
〃	井伊 久美子	社団法人日本看護協会常任理事
〃	上野 桂子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事 社団法人 全国訪問看護事業協会 常務理事
〃	遠藤 英俊	独立行政法人国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長
〃	岡田 啓	スギ薬局グループ薬事研修センター長 元愛知医科大学教授兼薬剤部長
〃	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学講座 地域在宅医療学・老年科学分野 名古屋大学医学部附属病院・老年内科 教授
〃	塩川 満	総合病院 聖隷浜松病院(地域医療支援病院) 薬剤部長
〃	白澤 政和	日本学術会議会員 桜美林大学大学院老年学研究科 教授
〃	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長 財団法人 日米医学医療交流財団 常務理事
〃	田中 雅子	社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
〃	山本 陽子	株式会社ケア・ビューティフル 代表取締役

(注)選考委員長を除いて五十音順に配列

(3) 地域医療連携モデルの構築と社会実験に向けての研究会

第2期に組成したあるべき地域医療連携モデルの設計、実現プロセスの検討、及び具体的な社会実験の実施までの研究を行う研究会を継続し、今年度は、1月より月1回(但し、4月、12月は休会)、年間10回の頻度で研究会を開催いたしました。

本研究会の実施に要した費用の総額は11,129,474円で内訳は下記の通りです。

費 目	金 額	摘 要
会場費	2,092,659 円	
会議費等	1,633,392 円	弁当代、資料代等
講師料等	757,258 円	
交通費	2,966,676 円	宿泊費も含む
報告書	3,207,000 円	
その他	472,489 円	消費税等

各回のテーマとゲストスピーカーは下表の通りです。

第9回	訪問看護の現状と問題点について	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
		佐野 けさ美	日本在宅看護学会 副理事長
第10回	人口減少時代の大都市経済	松谷 明彦	政策研究大学院大学 名誉教授 元大蔵省主計局主計官 大臣官房審議官
第11回	地域医療のICT化	杉浦 立尚	笑顔のおうちクリニック 院長
第12回	柏市医師会の取り組み	長瀬 慈村	柏市医師会 副会長
		古田 達之	柏市医師会 理事
第13回	大都市の人口問題の将来と医療・介護の連携	西村 周三	国立社会保障・人口問題研究所 所長
第14回	終末期患者とその家族を支える ～かあさんの家の試み～	市原 美穂	特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎 理事長
第15回	滋賀の医療福祉・在宅看取り	嘉田 由紀子	滋賀県知事
第16回	地域で安心して過ごすために ～医療福祉・東近江圏地域包括ケアの目指すもの～	花戸 貴司	東近江市永源寺診療所 所長
第17回	自分をまもる、家族をまもる、隣人をまもるための排泄ケア ～排泄ケアにおける多職種連携～	吉川 羊子	小牧市民病院泌尿器科 排尿ケアセンター 部長
第18回	健康長寿社会を実現するSmart Wellness City の取り組みについて	久野 謙也口	筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

【研究会メンバー】

研究会での役割	氏名(敬称略)	所属・役職
座長	大島 伸一	独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長
副座長	秋山 正子	白十字訪問看護ステーション 代表取締役・統括所長
副座長	小山 剛	社会福祉法人 長岡福祉協会 理事・評議員・執行役員 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
アドバイザー	田中 滋	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

研究会での役割	氏名(敬称略)	所属・役職
アドバイザー	辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーション けせら 管理者
〃	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
〃	大澤 光司	株式会社 メディカルグリーン 代表取締役社長
〃	川越 正平	あおぞら診療所 院長
〃	小玉 剛	こだま歯科医院 院長
〃	椎名 美恵子	有限会社 ふれすか 訪問看護テーステーション みけ 代表
〃	高砂 裕子	社団法人 南区医師協会 南区メディカルセンター 訪問看護ステーション 管理者
〃	長尾 和宏	医療法人社団 裕和会 長尾クリニック 理事長
〃	中澤 明子	社会福祉法人 せんねん村 総合施設長
〃	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長
〃	野中 博	野中医院 院長
〃	長谷川 宜史	社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会 事務局長
〃	馬袋 秀男	株式会社ジャパンケアサービスグループ 代表取締役社長兼 CEO
〃	藤田 正之	医療法人 仁医会 常務理事 法人本部長
〃	舩木 良真	三つ葉在宅クリニック 理事長
〃	宮路 博	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 居宅本部長
〃	山村 由美子	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 24時間ケアサービスステーション リーダー

(会員は五十音順)

研究会での役割	氏名	所属・役職
オブザーバー	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員
	佐野 けさ美	スギメディカル株式会社 介護支援運営部 部長
	杉浦 立尚	笑顔のおうちクリニック 院長

研究会での役割	氏名	所属・役職
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 院長
	辻 哲	ヘルスケアパートナーズ株式会社 顧問
	日栄 優	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 西京事務所 所長
	久常 節子	前 公益社団法人日本看護協会 会長
	宮島 俊彦	前 厚生労働省 老健局長
	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会 会長(元 高浜市長)
	吉井 靖子	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 介護・看護部長
	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員

2. ピンクリボン基金事業

本年度は、ピンクリボン書籍(乳がん克服の体験記)発刊の費用として、4,116,836 円、ウィッグの配布費用として 889,670 円を目的使用いたしました。

一方、スギホールディングス(株)よりの寄付金の入金が遅れているため、基金残高は 558,741 円となっていますが、1 月末に 250 万円の寄付金の入金がなされています。

3. その他の事業

(1)「健康増進セミナー」の開催

認知症予防等をテーマとしてセミナーを7回開催しました。

セミナーへの応募総数は4,742人で、これに要した費用は 6,730,063 円でした。

今年度は、体脂肪等の測定の為に InBody という体組成測定機器を4台購入しました。

開催地、応募者数は下表の通りです。

開催月	開催地	応募者数
4月	兵庫県神戸市	627
5月	三重県津市	463
6月	愛知県名古屋市	1,000
7月	京都府京都市	735
9月	埼玉県さいたま市	686
10月	岐阜県大垣市	689
11月	滋賀県大津市	542

(2)「介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動」DVDの作成

上記DVDを国立長寿医療研究センターの監修により作成・無料配布しました。

配布枚数は4,500枚で主に愛知県の老人クラブ3,000枚を配布しました。これに要した費用は3,847,248円でした。

(3)「第1回認知症医療介護推進フォーラム」の共催

国立長寿医療研究センターが主催する上記フォーラム(平成26年2月23日開催)を共催します。

ただし、金額は300万円とし会場運営等に人的な協力も行います。

本年度に費用化した金額は685,239円です。

III. 事務報告

1. 役員

平成 25 年度末現在の役員氏名は下記の通りです。

役名	氏名	就任年月日	略歴
理事長	杉浦 昭子	2013.3.14	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長
理事	井口 昭久	2012. 9. 5	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科教授 名古屋大学 名誉教授
	塩川 満	2013.3.14	総合病院 聖隷浜松病院(地域医療支援病院)薬剤部長
	高瀬 義昌	2013.3.14	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 院長 公益財団法人 日米医学医療交流財団 常務理事
	中井 加代子	2012. 9. 5	公益社団法人 愛知県看護協会会長
	鍋島 俊隆	2013.3.14	名古屋大学 名誉教授 名城大学 比較認知科学研究所所長
	野本 慎一	2013.3.14	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系 専攻 教授
	久常 節子	2013.3.14	国際医療福祉大学大学院 副大学院長 元 公益社団法人 日本看護協会 会長
	山村 恵子	2012. 9. 5	愛知学院大学 臨床薬剤学講座教授
	監事	神谷 誠	2013.3.14
平野 晃		2013.3.14	公認会計士 元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

(注)理事長を除いて五十音順、敬称略

2. 評議員

平成 25 年度末現在の評議員氏名は下記の通りです。

役名	氏名	就任年月日	略歴
評議員会長	杉浦 広一	2011. 9. 1	スギホールディングス株式会社 代表取締役社長
評議員	上野 桂子	2011. 9. 1	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事 社団法人 全国訪問看護事業協会 常務理事
	唐澤 祥人	2011. 9. 1	唐澤医院 院長 元 社団法人日本医師会 会長(第17代)
	木村 隆次	2011. 9. 1	有限会社 プロマックス 代表取締役 ハロー薬局 代表
	佐野 けさ美	2011. 9. 1	スギメディカル株式会社 看護事業開発部長 日本在宅看護学会 副理事長
	白澤 政和	2011. 9. 1	桜美林大学大学院老年学研究科 教授 日本学術会議 会員
	鈴木 匡	2012. 3. 14	名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
	水流 聡子	2011. 9. 1	東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 医療社会システム工学寄附講座 特任教授
	豊田 百合子	2012. 3. 14	大阪保健福祉専門学校 副学校長 元 公益社団法人 大阪府看護協会 会長
	橋本 俊明	2011. 9. 1	一般財団法人 サービス付き高齢者向け住宅協会 会長
伴 信太郎	2012. 3. 14	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授	

(注)評議員会長を除いて五十音順、敬称略

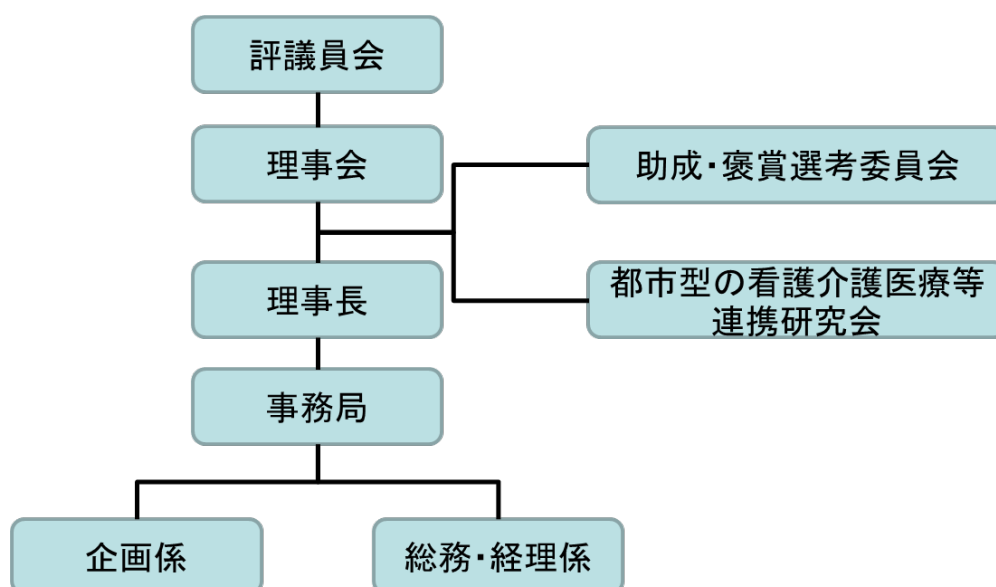
3. 事務局組織

平成 25 年度末現在における財団・事務局組織は以下の通りです。

(1) 職員構成

事務局 長 1 名
企 画 係 1 名
総務・経 理 係 1 名

(2) 組織図



4. 理事会

平成 25 年度(2013 年)における理事会は次の通り開催しました。

開催年月日	議 事	摘 要
2013 年 3 月 14 日(木) (第 5 回定例理事会)	【決議事項】 第1号議案 「平成 24 年度(第 2 期)事業報告書」「決算報告書」等の承認 【報告事項】 「荒井理事退任の報告」 【決議事項】 第 1 号議案 代表理事の選定	
2013 年 3 月 21 日(木) (臨時理事会)	【決議事項】 第1号議案 国立長寿医療研究センターとの共同研究による認知症予防 DVD 等の作成について	書面決議

開催年月日	議 事	摘 要
2013年4月29日(月) (臨時理事会)	【決議事項】 第1号議案 「都市型の看護介護医療等連携研究会」の内容を書物として発刊する件 第2号議案 第2回助成・褒賞の選考結果の承認について 第3号議案 助成・褒賞選考委員会規則の変更について(任期の定め)	書面決議
2013年7月4日(木) (臨時理事会)	【決議事項】 第1号議案 「理事会運営規程の改定の件」 定例理事会の開催回数、開催月を変更するもの。 第2号議案 「国立長寿医療研究センターよりの依頼の承認の件」 第3号議案 「平成25年度(第3期)補正予算の承認の件」 【報告事項】 第1号議案 「第3回杉浦地域医療振興助成金及び振興賞選考委員推薦の件」 第2号議案 「研究会中間報告書発刊準備状況について」 第3号議案 「「健康増進セミナー」の現状について」	
2013年12月12日(木) (第6回定例理事会)	【決議事項】 第1号議案 「平成26年度(第4期)事業計画書及び予算書」の承認	

5. 評議員会

平成 25 年度(2013 年)における評議員会は次の通り開催しました。

開催年月日	議 事	摘 要
2013 年 3 月 14 日(木) (第 3 回定時評議員会)	【報告事項】 第1号議案「平成 24 年度(第 2 期)事業報告書」の報告 【決議事項】 第1号議案 平成 24 年度(第 2 期)貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認 第2号議案 理事・監事の選任	
2013 年 7 月 4 日(木) (臨時評議員会)	【報告事項】 第1号議案「第 3 回杉浦地域医療振興助成金及び振興賞選考委員推薦の件」 第2号議案「研究会中間報告書発刊準備状況について」 第3号議案「「健康増進セミナー」の現状について」	
2013 年 12 月 12 日(木) (臨時評議員会)	【決議事項】 第1号議案「平成 26 年度(第 4 期)事業計画書及び予算書」の承認	書面決議

6. 評議員、役員報酬、職員人件費

会議の開催は評議員会2回、理事会3回で報酬の合計は170万円でした。職員の人件費は7,893,307円でした。

7. 財団パンフレットの作成

財団の概要を紹介するパンフレット(7,000部)、リーフレット(40,700部)を追加作成し、要した費用は831,040円でした。

8. 財団ホームページの保守

これに要した費用は、1,285,000円でその内訳は、保守費883,000円、運営費402,000円(予算402,000円)でした。

以上

事業報告の附属明細書

平成 25 年度(第 3 期)の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書について、特に「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

平成 26 年 3 月

一般財団法人杉浦地域医療振興財団